

会 議 録

会 議 名	令和 6 年度第 1 回野田市老人福祉計画及び介護保険事業計画推進等委員会
議題及び議題毎の 公開又は非公開の別	1 地域包括支援センターの設置について（公開） 2 指定介護予防支援業務の委託について（報告） （公開） 3 介護予防支援事業所の指定更新について（報告） （公開） 4 地域密着型サービス等（地域密着型通所介護）事業所の指定更新について（報告）（公開） 5 地域密着型サービス等（認知症対応型共同生活介護及び介護予防認知症対応型共同生活介護）事業所の指定更新について（報告）（公開） 6 地域密着型サービス等（地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護）事業所の指定更新について（報告）（公開）
日 時	令和 6 年 4 月 3 0 日（火） 午後 1 時 3 0 分から午後 2 時 1 0 分まで
場 所	市役所高層棟 8 階 大会議室
出席者氏名	副会長 小林 幸男 委 員 中林 隆 古賀 晴美 豊田 義雄 寺嶋 雪子 大用 菜穂子 中村 綾子 白島 智子 高森 輝行 山崎 美紀 山名 裕里 須賀田 貞彦 中山 道子 篠田 恵美子 藤井 愛子 三輪 秀民 天神 敏門 高橋 武宜 鏡 浩美 内藤 公子

	事務局 今村 繁 （副市長） 小林 智彦（福祉部長） 山口 忠司（福祉部次長兼高齢者支援課長） 吉田 陽子（高齢者支援課長補佐） 石栗 章男（高齢者支援課長補佐兼介護認定係長） 高梨 慧 （高齢者支援課高齢者支援係長） 土屋 耕太（高齢者支援課介護給付係長） 花嶋 智史（高齢者支援課副主幹兼地域包括支援センター長） 田中 道男（高齢者支援課高齢者支援係主査） 神吉 真帆（高齢者支援課高齢者支援係主任主事） 雨宮 和也（高齢者支援課高齢者支援係主任技師） 太田 蒼人（高齢者支援課介護認定係主事） 三浦 明日香（高齢者支援課地域包括支援センター主任主事） 岡田 譲史（高齢者支援課地域包括支援センター主任主事） 岡田 勇貴（障がい者支援課長） 古瀬 奈津代（保健センター健康増進係長） 山本 茂 （市民生活部参事兼国保年金課長）
欠 席 委 員 氏 名	会 長 鈴木 隆一 委 員 秋田 茂 遠山 康雄 江幡 吉生 鈴木 剛 藤本 司 澤田 健次郎 波戸 タカ子 森田 邦子 柳田 信也
傍 聴 者	1 名
議 事	令和6年度第1回野田市老人福祉計画及び介護保険事業計画推進等委員会の会議結果（概要）は次のとおりである。

小林副会長	令和6年4月30日 午後1時30分、開会を宣言 会長が欠席のため、議長を務めさせていただく。 会議の成立を報告した。 審議の公開について報告した。 傍聴について説明した。 新委員の藤本委員を紹介した。
高齢者支援課長補佐	欠席の委員を報告した。 会議録作成のため録音機を使用することを報告するとともに、発言について説明した。
小林副会長	議題1 地域包括支援センターの設置について 事務局から説明を受けた。 質問等を委員に問うた。
三輪委員	決して水を差すということではないのだが、気掛かりなことが二点ある。 まず一点目は、前回廃止の申出があったときの理由である。専門職3人が、一斉に辞められたというようなことではなかったかなと記憶しているが、そのときはもう辞めるということで余り理由まで深く突っ込んだわけではないのだけれども、改めてやるということになると、そのときの辞められた理由というのが、やはり気になる。 例えば、勤務条件が非常に悪いとか、これはあってはならないことだが、ハラスメントがあったなど、運営上の何か理由なり課題なりがあったのかどうか、もし、そういうものが解決していないとなると、今後どうなるのかというところが気掛かりで、その辺の事情

福祉部次長兼高齢者支援課長	が一点目である。 二点目は、専門職の確保というのが非常に厳しいのではないかと思う。社会福祉士、保健師もそうだと思うが、特に主任介護支援専門員について、一般論としてもケアマネの確保が難しいと言われている中で、主任介護支援専門員というのは、極めて資格を持っている方が限られているのではないかと思うので、その辺の確保の見通しが二点目である。 以上二点について、現状どうなっているのか教えていただきたい。 まず一点目の、専門職が辞めた理由等については、私どもも、それぞれの方が辞めた個別の理由ということまでは把握していない。 ただし、こちらの包括支援センターが廃止になったときに、職員の退職が問題になったが、この施設の体制に問題があったとは考えていない。実際に、この法人のグループで、他の地域において地域包括支援センターを運営しており、そちらの市町村に確認をとったのだが、特にそちらで運営が問題になっているということはないということであったので、今回申出があったため改めてお願いしたいと考えている。 また、御指摘のとおり、今介護職の方の確保は非常に難しい問題で、話にあったように、ケアマネジャー、特に主任ケアマネジャーの確保ということになると、木野崎病院に限らず、他も含めて厳しいということとは承知している。したがって、見通しといっても、確かにすぐに確保するというのは難しいのかなと考えてはいるが、市も多少時間がかかったとしても、きち
----------------------	---

	んと職員体制が整って包括の設置運営に問題がないということを確認してから委託したいと考えている。そのため、先ほど説明でも申し上げたのだが、早いにこしたことはないが、いつということでも今すぐに日にちを設定してということではなくて、十分慎重に木野崎病院と調整し、木野崎病院には職員の確保の方を進めていただき、市としてもそれを十分見極めた上で、委託をしたいというふうに考えている。
天神委員	専門職の人材確保が課題であるというのは、前期のシルバープランからもずっと触れられてきているのだけれども、なかなか野田市だけでは人口の問題もあって対応が難しいのかなというふうに個人的には思っている。柏市や、あるいは流山市など、近隣の市とのいろいろな連携を、市としてもやっているのではないかなというふうに思うのだが、それらの市との比較、野田市の今の例えば職員の賃金の水準や、あるいは充足の状況など、いろいろと比較した上で、勉強になるようなことや、あるいは活用できるようなこととかがあるのではないかなというふうに思うのだけれども、その辺りについて、市としての取組があるのであればお聞きしたい。
福祉部次長兼高齢者支援課長	近隣市との連携については、今現在、野田市で近隣市と介護職員の確保について連携は、特に今何かやっているということはない。飽くまで今の段階では、市でいろいろ対策を検討してということになる。充足状況については、したがって、近隣市と比べて野田市がどうかという比較が、今難しい状況なのだが、もし、

	そのデータが取れるものであれば、私どももそういうデータを基に、いろいろ野田市の状況はどうなのかということを検討するための材料にしていきたいというようには考えている。 また、野田市の場合、どうしても今単独にはなるのだが、介護事業所等と協力して、いろいろ、例えば合同就職相談会を開いたりというようなことをやっているの、そういったところを含めて、今後こういった形で効果的な施策をできるのかということは、引き続き検討していきたいと思う。
天神委員	介護の問題は、市単独だけの課題ではなくて、やはりここの付近の他の市とあわせた広域の取組というのが大事なだろうというふうに思っているの、野田市の場合は他の柏や流山より高齢化率が高いため、是非そういうような取組を、野田市から働きかけをやっていただき、より良い介護施策につなげていっていただければ有り難いと思う。
白島委員	まず一点目は質問なのだが、今回この推進等委員会の中で、地域包括支援センターの現状と今後についてという御説明があったという理由を教えてください。なぜかという、推進等委員会は決議権があり、それで例えば包括を設置するというのならば、この会議で議案としてあがり、良いか悪いかという話になるのだが、あったものがなくなり、また元の法人が設置するという申出があったということ、今回議題にあげたということはどんな理由だったのかというところが知りたい。

福祉部次長兼高齢者支援課長	今回こちらを議題としたのは、今指摘があったように、この委員会の設置条例の中に地域包括支援センターの設置及び運営に関することというのが、調査審議する事項と挙げられているのだが、今回は、申出があったということで、市としては、今後も木野崎病院と設置に向けて話を進めていくということである。したがって、市としては木野崎病院にお願いするという意向で今後この話を進めたいと考えているため、その点について、委員の皆様の御承認を頂きたいということで議題とさせていただいた。
白島委員	三輪委員から、前に退職がきっかけで一度廃止になったが、今度大丈夫なのかという話があった。そのため、市も大丈夫だろうかという不安を抱えてしまう案件なのかなと思った。 私は事業者協議会の、居宅を含めた全部のいろいろな介護事業所を取り扱っている協議会の会長なのだが、特に現状ケアマネジャーはかなり不足している。 やはり一つは更新で、この主任介護支援専門員の更新は、例えば3時間以上の研修を1年の間に何回受けなければならないなど、事前のそのような条件も含めて、かなり更新が厳しい。そのため、やはりなり手が少なくなっているということと、他には介護保険が施行されて長いため、ケアマネジャーという職種ができてもう20年以上と長いので、高齢化しているという問題もある。社会的にも高齢化の問題は非常に大きな問題なので、そういう中ではシニアというか、やはりそういうところの資格を持っている方をこういうところ

	に配属をして、例えば病院の中の職員の中で資格を持っている方を配属するというよりは、シニア層の活用ということも含めて、考えたらいいのではないかなと思う。 また、先ほど就職相談会の話もあったが、野田市の中で介護人材やケアマネジャーを含めたそういう支援に関わる職種を増やしていくのにも、やはり市と一緒に、そのシニア層をどう活用していくかということを考える必要性があるのかなと思う。 あともう一つ、以前に私は市に質問したのだが、やはり他市も含めてというところで、野田市としては介護人材が不足しているのは確実に分かっているので、支援金というか、そういうことも含めて考えているかという質問をしたことがある。そのときに、市からは、今のところないという話もあったのだが、その辺も含めて、一緒に検討をしていくという必要性があるのかなと思う。これは意見である。
福祉部次長兼高齢者支援課長	今御意見いただいたのだが、そこは前々回の会議でも質問いただいてお答えしたところなのだが、市としては、今はそこ以外の部分でということになると思う。先ほども話に出た合同就職相談会、その他に体験等、そういった既存の制度ももちろんそうであるし、あるいはもし何か新しくこういったものをやれば効果的なのではないかというものがあれば、そういったものも検討していきたいというふうに思う。
副市長	今の支援の話なのだけれども、これは保育士もずっと各市が支援ということでやっているわけだけれど

	も、例えば保育士でいうと流山市や柏市のように、財政的に見て、なかなか野田市が同じ土俵でやるというのは厳しいと考えている。現実にはできていないし、やったとしても、地理的条件もあるため、なかなか難しい面もあるので、お金の面だけではない魅力的なサービスなどを検討しなければならないと思っている。保育士の方は結構いろいろとやっているのだけれども、介護の方は遅ればせながら就職相談会をやったりし、多少遅れている面もあると思っているので、そちらの方もしっかり取り組まなければならないと思っている。 また、この議題についてなのだけれども、辞めた事情はそれぞれ個別の事情ということではあるけれども、現実には運営できないほどになったということは、やはり市としても心配は当然ある。そのため、今回は非常に慎重に、できるということを見極めてから、設置していきたいというふうに考えている。その間は、市でもいろいろと事業者との相談にものって、一緒に確保の方策についても一緒に考えていくというようなことも必要ではないかというふうに考えている。
小林副会長	他に質問等を委員に問うた。 質問等なし。 議題１について、了承としてよいか。 <異議なしの声あり>
小林副会長	議題１は説明のとおり了承した。

小林副会長	議題 2 指定介護予防支援業務の委託について 事務局から報告を受けた。 質問等を委員に問うた。 質問等なし。
小林副会長	議題 3 介護予防支援事業所の指定更新について 事務局から報告を受けた。 質問等を委員に問うた。 質問等なし。
小林副会長	議題 4 地域密着型サービス等（地域密着型通所介護）事業所の指定更新について 事務局から報告を受けた。 質問等を委員に問うた。 質問等なし。
小林副会長	議題 5 地域密着型サービス等（認知症対応型共同生活介護及び介護予防認知症対応型共同生活介護）事業所の指定更新について 事務局から報告を受けた。 質問等を委員に問うた。 質問等なし。
小林副会長	議題 6 地域密着型サービス等（地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護）事業所の指定更新について 事務局から報告を受けた。 質問等を委員に問うた。 質問等なし。

	午後 2 時 10 分閉会を宣言
--	------------------